

鐵道研究会の本懐を遂げる

# 鐵道模型カメラカーの製作

ふちんかん

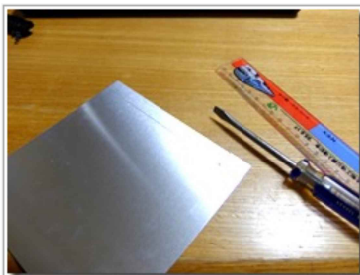
『アラかん』でも書いたが、Nゲージ鐵道模型のカメラカーを製作した。

シーナリーのあるレイアウトを走行させていると、走っている車両からの映像が欲しくなるものである。どんなに視線を車両に近づけてみても、走っている車両からの光景には勝ることはできない。

初代「トレインスコープ」を仕込んだカメラカーが3台あり、これは27万画素だそうで、デジカメ創世記のQV-10と同じ画素数である。

2023年には100万画素[PETA-CAM-PPAT]を購入し、組み込んだカメラカーを製作した。ちとサイズオーバーであるが画質は向上した。ただバッテリーが小さい。

そして2024年、さらに映像のクオリティを上げるため、アクションカメラであるSONYの[HDR-AS300]とpanasonicの[HX-A1H]を載せたカメラカーも製作した。どちらも300万画素オーバーである。HDR-AS300は高さがけっこうあるので、ネットの製作記事を参考に、床を落とした台車を製作した。



アルミ板を切り出して



分割した台車の前後間に取り付け



カメラを載せて完成

HX-A1Hの方は鉄コレの台車に載せるだけである。

どちらも長時間撮影できるだけでなく、音声も録音されているので、ジョイント音とかトンネル内での反響音とか妙にリアルに聞こえるのは想定外のプラス面であった。



そして先ほど[PETA-CAM-PPAT-N]を購入…近々車両に組み込む予定である。